

事務事業名		種山高原牧野管理運営協議会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興			
	基本事業名	02 農業経営の安定支援		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 04 13 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	農林水産部農林課			
	課長名	菅原 博幸			
	係名	農政係	電話	27-3111	
	担当者	星上 順一	内線	7123	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
・種山高原牧野管理運営協議会に協賛し、負担金を支出する事業。 ・種山高原牧野管理運営協議会は、種山高原牧野放牧利用関係市町、農協及び県等との連携のもと、黒毛和種等の放牧事業を推進し、低コストで安定的な生産を図り農家の経営安定及び利用地域の畜産振興を図ることを目的としている。 ・協議会の主な事業は、放牧事業(人工授精、妊娠鑑定及び家畜診療などを含む)、衛生検査事業、牛白血病対策のための分離放牧事業である。 ・当市においては、放牧事業に係る事務手続きを協力するとともに、衛生検査事業への作業出役を行っている。				総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 衛生事業参加回数 回	
・種山高原牧野管理運営協議会に対し、負担金を拠出。 ・衛生検査事業に係る作業への出役。		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同じ。			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・種山高原牧野管理運営協議会		名称 単位	
		カ 協議会会員数 団体	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・負担金の納入等により、協議会の運営を健全なものとし、家畜の低コストで安定的な生産と、農家の経営安定を図る。		名称 単位	
		サ 市内の家畜の預託頭数(実頭数) 頭	
		シ 市内の家畜の預託頭数(延べ頭数) 頭	
		ス 市内の利用農家戸数 戸	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・安定して農業を営む。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			282			
	事業費計(A)		千円	0	0	282	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			1			
		延べ業務時間	時間						
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	282	0	0
⑤ 活動指標		ア	回			3			
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	団体			9			
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	頭			63			
		シ	頭			6665			
		ス	戸			15			

事務事業ID	1744	事務事業名	種山高原牧野管理運営協議会参画事業
--------	------	-------	-------------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 ・放射能の影響により利用中止していた夏虫山放牧場の一部が除染作業が平成25年度に完了したため、平成26年度～平成27年度に試験放牧を実施したが、平成28年度に夏虫山放牧場の委託管理先であるJAおおふなどが都合により、受託できない状況となったため、平成28年度は市内畜産農家が個々に種山高原牧野管理運営協議会に利用申請し、協議会会員外利用として種山放牧場に放牧した。
 ・平成28年11月に市と市内畜産農家の懇談会を開催し、畜産農家より大船渡市が協議会に加入すること要望を受け、平成29年度に加入し協議会会員として、事業に参画することとなった。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・畜産農家の労働力等の軽減のため、種山高原牧野管理運営協議会の果たす役割が増えている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 ・平成28年度の市内畜産農家との懇談会時に、大船渡市が種山高原牧野管理運営協議会に加入するよう要望を受けて、平成29年度に協議会に加入した。平成29年度は利用農家数15戸、頭数63頭、延べ頭数6,665頭(平成28年度、利用農家数14戸、頭数59頭、延べ頭数5,971頭)と、前年から各数値とも伸びている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・種山高原牧野管理運営協議会の業務は、当市畜産農家の低コストで安定的な生産を図る上で重要であり、協議会との連携は必要。 ・協議会への参画により、畜産農家の経営安定が図られ、市の農業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・種山高原牧野を利用する市町村が協議会に加入している。 ・協議会への参画は、当市の畜産振興全般に結びつくことから、関与は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・種山高原牧野を利用する市町村が協議会に加入している。 ・協議会への参画は、当市の畜産振興全般に結びつくことから、関与は妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・対象である種山高原牧野管理運営協議会に対し、負担金を納入するとともに作業出役により、協議会の運営を健全なものとするのが意図の事業であることから、対象、意図とも適切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・協議会の運営を支え、畜産農家の経営安定を図るために、継続して事業に参画する必要がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・市内の家畜低コストで安定的な生産を行うには、廃止はできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業費は負担金のみで、作業出役は構成団体が一律に分担しており、削減できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・協会が行う事業への負担金納入事務、作業出役及び総会への参加に係る人件費のみであり、削減できない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。